

ディプロマ・ポリシー（修得する能力）

建築学コースでは、次のような力を学士課程より高い基準で修得することができる。

- ・ 建築学に関わる研究，創作，技術開発において専門知識を活用して実践に導く能力
- ・ 建築学の深奥を究めようとする探究力
- ・ 建築学以外の研究を統合し，新しい研究や創作の分野を創造する能力
- ・ 国際的な視野に基づき研究，創作，技術開発における潮流を理解し体系化する能力
- ・ 国際的に通用するコミュニケーション基礎力

カリキュラム・ポリシー（教育内容）

本コースでは、「ディプロマ・ポリシー（修得する力）」を身につけるために、次のような内容の学修を行う。

A) 建築学分野の専門基礎学修

選択可能な準必修科目による建築学の学修および選択可能な推奨科目による都市・環境工学，エンジニアリングデザイン学の学修および応用

B) 建築学の応用学修

専門基礎科目の修得に基づき，豊富な専門選択科目による理論の応用を学ぶ学修

C) 広い視野を養い，主体的に進める学修

学生自らがテーマを設定し研究・設計を行う講究，実習，実験，定期的オリエンテーション，専門相談教員との対面修学指導，ゼミなどを通じ，主体的に取り組む力をつける学修

D) 社会との関わりを体験する学修

社会で活躍する講師陣や，インターンシップ科目を通しての実務体験学修や技術者倫理の学修

E) コミュニケーション能力の強化学修

学士特定課題研究の論文作成に要求される文書化力と，ゼミ・ワークショップ・国際会議等を通じた発表力の養成学修

アドミッション・ポリシー（求める人材像と求める力）

建築学系では、次のような人材を求めます。

- ・ 建築学および都市・環境において全般的な基礎学力と専門領域の学力を有すること
- ・ 多面的な捉え方、論理的な思考、創造、表現ができること
- ・ 未知の領域に興味を持ち、挑戦する気概、積極的な研究意欲を有すること
- ・ 建築および都市・環境を取り巻く世界を理解し、専門知識を生かし、社会の発展に貢献する志を有すること
- ・ 国際的に研究活動や創作活動を行うための基礎的な語学力を有していること

アドミッション・ポリシー（入学者選抜方針）

建築学系の専門に関する学力、英語による語学力、適性などについて、面接形式の試問、筆答試験などにより、建築学系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。